

予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 **新** 高性能林業機械等導入事業費補助金(コロナ対策)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3252)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 21,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-
補 正 要求額	21,000	0	0	0	0	0	0	0	21,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大に伴うウッドショックにより、海外からの木材輸入量が減少し、県内製材工場や住宅建設事業者は輸入材の調達が難しくなっており、代替として県産材の需要が高まっている。

しかしながら、林業従事者を急激に増やすことは困難であり、現状の人員で県産材を増産するためには、伐採作業の効率化が求められる。

また効率良く木材を増産するために皆伐の拡大が見込まれるが、伐採後に植栽が放棄されると豪雨時の土砂流出や将来の森林資源の減少が懸念されることから、皆伐後の植栽は不可欠である。

そこで、限られた人員で効率的に木材を生産するとともに、災害防止と資源造成を進めるため、高性能林業機械を導入する林業事業体や、及び苗木等の資材を運搬するドローンを導入する林業事業体を支援する。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

県産材の需要の高まりに応えつつ、皆伐跡地の植栽を促進するため、木材生産体制の強化や植栽作業の効率化を図る林業事業体に対し機械設備の導

入経費を助成する。

この取組により県産材を増産し、コロナ禍で木材不足の影響を受けている県内製材工場や住宅建設事業者の支援に繋がる。

(イ) 内容

補助対象 高性能林業機械等

(タワーヤーダ、スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ、ハーベスタ、運搬用ドローン等)

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 4/10 以内 (タワーヤーダ、スイングヤーダ、ロングリーチハーベスタ、ロングリーチグラブ) (ル)

1/3 以内 (上記以外の高性能林業機械)

3/4 以内 (運搬用ドローン)

(4) 類似事業の有無 有

3 事業費の積算内訳

単位：千円

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	21,000	高性能林業機械等導入の支援
合計	21,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画

- 1 健全で豊かな森林づくりの推進 (1) 災害に強い森林づくりの推進
- 2 林業及び木材産業の振興 (1) 効率的な森林施業の実施

(2) 国・他県の状況

国は国補助事業(林業・木材産業成長産業化促進対策交付金)において高性能林業機械等の導入支援をしており各都道府県が活用しているが、新型コロナウイルス感染症への経済対策として機械導入を支援する事業はない。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

- 1) 事業主体：県が選定した育成を図る林業経営体
- 2) 妥当性：国要綱(林業成長産業化総合対策実施要綱)に準ずるもので、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	高性能林業機械等導入補助金(コロナ対策枠)
補助事業者(団体)	県が選定した育成を図る林業経営体 (理由) 林業の担い手である。
補助事業の概要	(目的) 県産材需要の高まりに応えつつ皆伐跡地の造林未済地化を防ぐため、木材生産体制の強化、植栽作業の効率化を図る。 (内容) 木材生産体制強化、植栽作業の効率化を図る林業事業体に対し、高性能林業機械等の導入経費を助成する。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他 (内容) 補助率 4/10, 1/3, 3/4 (機械種類、県が定める要件による)
補助効果	・木材供給量が増え、製材業者等の支援に繋がる。 ・植栽に係る労務負荷を軽減し、皆伐跡地の造林未済地化を防ぐ。
終期の設定	終期 令和3年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策期間

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

第3期岐阜県森林づくり基本計画で定める計画終期の令和3年度の木材生産量 60万³m³、再造林面積 450ha を目標とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①木材生産量(万 ³ m ³)	43.8	60.0	60.0
②再造林(ha)	170	450	450

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	一千円	一千円	一千円	一千円	(要求額) 21,000千円
指標①目標	54.0	55.0	56.0	58.0	60.0
指標①実績	53.5	56.9	57.3	(推計値) 54.0	(推計値)
指標①達成率	99%	103%	102%	(推計値) 93%	(推計値) %

指標②目標	345	365	385	410	450
指標②実績	168	156	156	(推計値) 186	(推計値)
指標②達成率	49%	43%	41%	(推計値) 45%	(推計値) %

(前年度の成果)

—

(今後の課題)

県産材需要に迅速に対応できる木材生産体制づくり、皆伐後の植栽を確実に実行する仕組みづくりが必要

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県産材需要の高まりに応え木材供給量を増加させ、かつ皆伐後の植栽を確実に実行するためには、林業事業者の木材生産体制強化、植栽作業の効率化を促進する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・**廃止**
(理由) 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策によるため